

2013年1月20日／シトロエンレーシング発

世界ラリー選手権(WRC)ラリー モンテカルロ

～ローブ、7度目のモンテカルロ優勝～

3日間の競技後、土曜日予定されていたチュリニ峠を通る2つのナイトステージはキャンセルとなり、セバスチャン・ローブ／ダニエル・エレナ組は4日間の戦いを制し、7度目のモンテカルロラリー優勝を成し遂げました。そして3位にもダニエル・ソルド／カルロ・デル・バリオ組が入り、今年の開幕戦で2台のシトロエン DS3 WRC がポディウム・フィニッシュを飾りました。4位にもミッコ・ヒルボネン／ヤルモ・レイティネン組が入り、シトロエン・トタル・アブ・ダビ・ワールド・ラリー・チームは、マニファクチャラーズ・ポイントスタンディングでリードをしています。



金曜日の午後早くクルー達はその日の最後の2ステージに向けてスタートして行きました。するとすぐにシトロエンのサービス・チームはサービスパークの撤収に取りかかりました。約393Kmの移動後、5台のサービストラックは深夜モナコに到着しました。夜明けまでにすべてのサービス機材をトラックから降ろし、F1モナコGPのピットの位置に再びサービス機材を準備してシトロエン DS3 WRC を待ち構えていました。

ラリーベースが南フランスから移されても天候の変化はありませんでした。雨の降り続くモナコから雪の降る800mの高地と移動するクルー達には、再びミシュランのスパイクタイヤが必要となりました。はじめのループは、ロダ峠(ラントスク - ルセラ)経由でチュリニ峠(ムーリネ - ラ・ボレーヌ・ヴェスビー)を2度走るようになっていました。

SS14 フィニッシュ地点で難しいコンディションに「運転できる状況じゃない。薄い油膜に線を引いてるようで、常時アクアプレーニング現象が起きてるんだ。直線ですら30Km以上は出せない。全クのお手上げだよ」と、ローブは不満を爆発させました。彼が後続車に走行ライン残したおかげで、DS3 WRC に乗るブリアン・ブフィエがこのステージのトップタイムを取りました。

www.citroen-wrc.com



このステージでは、何台かがコース・オフによってリタイアとなりました。ダニ・ソルド組とミッコ・ヒルボネン組のライバル達もここでリタイアとなりました。その結果、彼らは 3 位と 4 位に順位を上げました。「コース上に残るのが難しかった。コンディションは泥が多く最悪だった」「チュリニ峠の 2 回目はまあまあだったね。コース上にいられたから。でも、とにかくミスを犯さないようにと走った。ミスったら終わりだからね」と、ソルドは語りました。

SS15 のチュリニ峠にアタックする前にローブには少し余裕がありました。「路面には、1 回目のアタックでできた 2 本の走行ラインが残っていたんだ。その 2 本はどちらも選択の余地はなく、今一度ドライバーにとっても観客にとってもつまらないアタックをしなければならなかった。とにかく、フィニッシュを目指してね」。

夕方、モナコに戻ったクルー達は今晚 2 回走るチュリニ峠用に生き残っているスパイクタイヤを選択していました。しかし、ラリーの主催者は競技車がすでにサービスパークを出発した後に、安全上の理由から最終 2 ステージのキャンセルを発表しました。

ラリーは、ここで終了です。シトロエンのサービスパーク内では驚きがすぐに喜びに変わりました。「変なフィニッシュだったけど、コース状況が異常だったから、この決定は理解できる」と、シトロエン・レーシング・チーム監督のイブ・マットンが語りました。「我々の掲げた目標は、2 台の DS3 WRC をポディウムにあげることだった。さらに嬉しいことは、トップ 5 に 4 台もの DS3 WRC が入ったことです」。

モンテカルロラリー 7 度目の優勝を挙げたセバスチアン・ローブは、トミ・マキネンと同じ 4 回連続優勝の記録に並びました。「ちょっと変な気分だね。ラリーがちゃんと終わらなかったし。でも、今週末はドライコンディション以外のすべてのコンディションを経験できた。一度もスリックタイヤを使わなかったモンテカルロって、多分初めてだと思うよ。僕たちは、スタートからフィニッシュまでほとんどラリーをリードして優勝したからとても嬉しい。多分ここにいるのが最後になると思うから、何となく特別な優勝になってくるね」。

「シトロエンに戻って、ポディウムフィニッシュができてとても嬉しいよ。コンディションは僕にとって普通ではなかったけど、とても良い結果が残せた。二人のローブとオジェのセバシュチャンの後ろでフィニッシュまでとても長かったけど、僕らは彼らと別なラリーをしてる、と感じた。早く次のラリーを走りたいよ」。

ミッコ・ヒルボネンが 4 位に入ったおかげで、シトロエン・トタル・アブ・ダビ・ワールド・ラリー・チームは、初戦を終了した時点でマニファクチャラーズ・ポイントスタンディングで 19 ポイントもリードしています。「ラリー終盤でラッキーもあったけど、この結果はとても満足です。ラリーはとても難しかったけど、良い結果で終了して満足しなければね。選手権ポイントでも悪くないポジションだし」と、ヒルボネンは締めてくれました。

【最終結果】

優勝	Loeb/Elena	Citroën DS3 WRC	5h18'57.02"
2位	Ogier/Ingrassia	VW Polo R WRC	+1'39.9"
3位	Sordo/del Barrio	Citroën DS3 WRC	+3'49.0"
4位	Hirvonen/Lahtinen	Citroën DS3 WRC	+5'26.3"
5位	Bouffier/Panseri	Citroën DS3 WRC	+8'13.1"

